

2020年11月27日

**アムンディ・次世代イノベティブ世界株式ファンド（愛称：みらいクリエイター™）  
本日より、SBI証券で取扱開始**

**アムンディ・ジャパン株式会社**

アムンディ・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長：ローラン・ベルティオ）が設定・運用する投資信託  
**アムンディ・次世代イノベティブ世界株式ファンド（愛称：みらいクリエイター™）**は、本日より、株式会社  
SBI証券（IFAコース限定）で取扱開始いたします。

**みらいクリエイター™**（以下「当ファンド」といいます。）は革新的な技術やアイデアにより、新たな製品やサービス  
を提供する企業とその成長力に着目した投資信託です。当ファンドは2020年6月20日に設定され、11月20日  
現在の基準価額は11,929円となっています。

1. 当ファンドの目的と特色

主に世界株式に実質的に投資し、投資信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

投資信託証券への投資を通じて、主に革新的な技術やアイデアにより新たな製品やサービスを顧客に提供する  
世界の企業の株式へ投資します。株式への投資は、ルクセンブルク籍投資信託「CPR Invest - グローバル・  
ディスプレイティブ・オポチュニティーズ（以下「外国籍投資信託」といいます。）への投資を通じて行います。

**「今こそ、みらいに投資するとき」 “INVEST TODAY IN TOMORROW'S WORLD”**

当ファンドは企業の行っているビジネスに着目し、「ライフサイエンス&ヘルス」、「デジタルエコノミー」、「アース」  
および「インダストリー4.0」を投資テーマとしています。



出所：CPRアセットマネジメント（2020年11月現在）

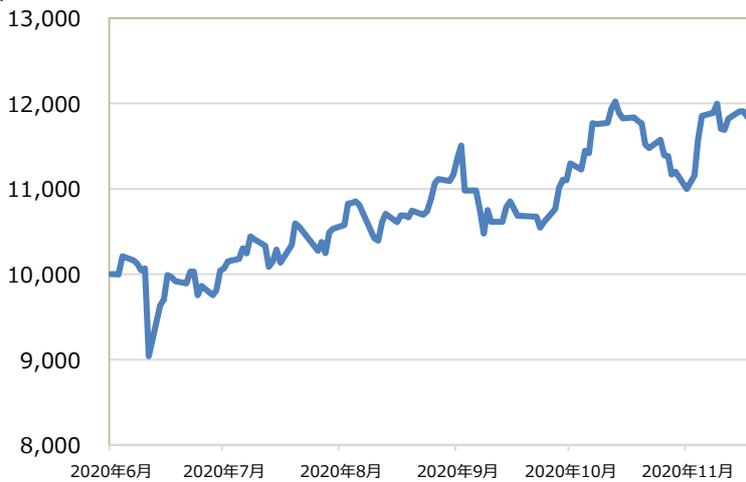
注：投資テーマは当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。

TM=商標登録出願中

世界は新型コロナウイルスの猛威という未曾有の事態に見舞われましたが、ようやく経済や社会の建て直し、新しい日常、そして新しい時代が始まりつつあります。社会の価値観が変化しつつある今こそ、既存とは一線を画した新たなビジネスを創り出し、より高い成長が期待できる企業にとっては大きなチャンスと言えるでしょう。当ファンドを通して未来のマーケットリーダーの圧倒的な成長を捉える機会を日本のお客さまにご提供いたします。

### みらいクリエイター™ 設定来の基準価額の推移

期間：2020年6月20日（設定日）～2020年11月20日、日次  
(円)



2020年11月20日現在の

基準価額 **11,929 円**

- ・ 基準価額は信託報酬控除後です。
- ・ 左記は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。

## 2. CPR アセットマネジメント

外国籍投資信託の運用は、CPR アセットマネジメントが行います。

### CPRアセットマネジメント(フランス)

- アムンディ傘下の子会社で、グループのテーマ株の中核的な運用会社
- 約6兆2,475億円の運用資産額(うちテーマ株式は約1兆4,434億円)\*
- 15年以上にわたるテーマ株式の運用実績
- 投資テーマの新たな開拓も行い、戦略も拡大
- 12名の運用プロフェッショナルを擁し、アムンディの調査部門と緊密に連携

\*2020年7月末現在。運用資産額約501億ユーロ(うちテーマ株式は約116億ユーロ)を1ユーロ=124.75円で換算。



## 主要投資対象とする投資信託証券の概要

外国籍投資信託	
ファンド名	CPR Invest - グローバル・ディスラプティブ・オポチュニティーズ
ファンドの形態	ルクセンブルク籍/会社型投資信託(ユーロ建)
投資目的	革新的なビジネスモデルを構築、またはそれによって恩恵を受ける日本を含む世界の企業の株式に投資し、長期的に世界株式市場をアウトパフォームする事を目的とします。
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新たな市場(新製品、新サービス、ソリューション、販売チャネル等)を創造する革新的な企業の株式に投資します。新興国を含む世界各国における創造的破壊にともなう構造変化から恩恵を受ける企業の株式に投資します。</li> <li>● トップダウン手法とボトムアップ手法の双方を用います。</li> </ul>
運用プロセス	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> <p style="text-align: center;"><b>1</b></p> <p style="text-align: center;"><b>最適な投資 ユニバースの決定</b></p> <p>二つのアプローチで投資ユニバース組み入れを決定し、ビジネスモデル毎にモニタリング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部機関を活用したイノベーション検知とトレンド分析</li> <li>・ アナリストがビジネスモデルの革新性を評価</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> <p style="text-align: center;"><b>2</b></p> <p style="text-align: center;"><b>定量的な スクリーニング</b></p> <p>異なる観点での定量分析システムを併用したビジネスモデル別銘柄スクリーニング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主としてキャッシュフローに基づく外部の定量分析システム</li> <li>・ より広範な指標を用いた独自開発システム</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> <p style="text-align: center;"><b>3</b></p> <p style="text-align: center;"><b>ファンダメンタル 分析</b></p> <p>スクリーニング候補銘柄の銘柄群の詳細なファンダメンタルズ分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビジネスモデル別の競争環境の分析</li> <li>・ 成長性、収益性、財務力、バリュエーション分析</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 22%;"> <p style="text-align: center;"><b>4</b></p> <p style="text-align: center;"><b>ポートフォリオ構築 リスクモニタリング</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 株価の上昇余地とリスクを勘案した確信度に応じて最終組み入れ銘柄を決定。</li> <li>・ 組み比率は確信度のほかに流動性も反映。</li> <li>・ リスクモニタリング</li> </ul> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 2px 10px;">~740銘柄程度</span> <span style="margin-left: 200px; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 2px 10px;">~70銘柄程度</span> </p> <p>※本書作成日現在の運用プロセスに基づいて作成しています。銘柄数については、状況に応じて変動します。</p>
参考指数	<p>MSCIワールド・インデックス(配当込み、ユーロベース)</p> <p>※MSCIワールド・インデックスはMSCI Inc.が発行した株価指数です。同指数に関する著作権、その他の知的財産権はMSCI Inc.に帰属しております。</p>
投資顧問会社	CPRアセットマネジメント

## 投資リスクについて

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として株式など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります。）に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。ファンドの基準価額の下落により、損失を被り投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因としては、価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因（投資リスク）はこれらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、ファンドの繰上償還や収益分配金に関する留意事項等があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

## 手数料・費用等

### 〈投資者が直接的に負担する費用〉

購入時手数料	当初申込期間：1口につき1円に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。 継続申込期間：購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。 詳しくは販売会社にお問合せください。	
	料率上限(本書作成日現在)	役務の内容
	3.3% (税抜3.0%)	商品や関連する投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務コストの対価として販売会社にお支払いいただきます。
信託財産留保額	ありません。	

### 〈投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用〉

運用管理費用 (信託報酬)	ファンド	<p>信託報酬の総額は、投資信託財産の純資産総額に対し<b>年率1.078% (税抜0.98%)</b>を乗じて得た金額とし、ファンドの計算期間を通じて毎日、費用計上されます。</p> <p>【信託報酬の配分】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支払先</th> <th>料率(年率)</th> <th>役務の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託会社</td> <td>0.25% (税抜)</td> <td>ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>0.70% (税抜)</td> <td>購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>0.03% (税抜)</td> <td>ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価</td> </tr> </tbody> </table> <p>【支払方法】 毎計算期間末または信託終了のときに、投資信託財産中から支弁します。</p>	支払先	料率(年率)	役務の内容	委託会社	0.25% (税抜)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価	販売会社	0.70% (税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価	受託会社	0.03% (税抜)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価
	支払先	料率(年率)	役務の内容											
	委託会社	0.25% (税抜)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価											
販売会社	0.70% (税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価												
受託会社	0.03% (税抜)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価												
投資対象とする投資信託証券	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>料率(年率)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CPR Invest - グローバル・ディスラプティブ・オポチュニティーズ</td> <td>0.8%</td> </tr> <tr> <td>CAマネーブルファンド(適格機関投資家専用)</td> <td>0.385% (税抜0.35%) 以内</td> </tr> </tbody> </table>	名称	料率(年率)	CPR Invest - グローバル・ディスラプティブ・オポチュニティーズ	0.8%	CAマネーブルファンド(適格機関投資家専用)	0.385% (税抜0.35%) 以内							
名称	料率(年率)													
CPR Invest - グローバル・ディスラプティブ・オポチュニティーズ	0.8%													
CAマネーブルファンド(適格機関投資家専用)	0.385% (税抜0.35%) 以内													
実質的な負担の上限	<p>純資産総額に対して<b>年率1.878% (税込)</b> ファンドの信託報酬年率1.078% (税込) に投資対象とする投資信託証券のうち信託報酬が最大のもの(年率0.8%)を加算しております。ファンドの実際の投資信託証券の組入状況等によっては、実質的な信託報酬率は変動します。</p> <p>◆上記の運用管理費用(信託報酬)は、本書作成日現在のものです。</p>													
その他の費用・手数料	<p>その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用</li> <li>●信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。)</li> <li>●投資信託財産に関する租税 等</li> </ul> <p>※その他、組入投資信託証券においては、ルクセンブルクの年次税(年率0.01%)などの諸費用がかかります。 *その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。</p>													

◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

## アムンディについて

アムンディはフランス・パリに本拠を置き、世界 6 都市の主要な運用拠点<sup>※1</sup>を通じて約 206 兆円<sup>※2</sup>の資産を運用する、欧州 No. 1<sup>※3</sup>、世界トップ 10<sup>※3</sup>の資産運用会社です。2015 年 11 月ユーロネクスト・パリ市場に上場し、世界 37 の国・地域の事業拠点で競争力の高い運用ソリューションを提供しています。アムンディの一貫した目標は、日本でもグローバルでも、お客さま本位のビジネスの実行で、個人投資家および機関投資家に対し、革新的で透明性の高い運用ソリューションの提供に努めています。

アムンディ 信頼されるパートナー

日々、お客さまと社会のために

公式ウェブサイト：[amundi.co.jp](http://amundi.co.jp)

- 1 主要運用拠点：ボストン ダブリン ロンドン ミラノ パリ 東京（アルファベット順）
- 2 運用資産額は、2020年9月末日現在。約1兆6,620億ユーロ、1ユーロ=124.17円で換算
- 3 出所：インベストメント・ペンション・ヨーロッパによる資産運用会社トップ500社（2020年6月版、2019年12月末の運用資産額）に基づく。

本件に関するお問合せ先：アムンディ・ジャパン株式会社 広報室

e-mail：[pr@jp.amundi.com](mailto:pr@jp.amundi.com)

直通：03-3593-5700/9019

R2011044

当資料は、アムンディ・次世代イノベティブ世界株式ファンド（愛称：みらいクリエーター™）へのご理解を深めていただくことを目的として、アムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料です。当ファンドをお申込みの際には投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。